

岡山労働局発表
令和3年4月28日

岡山労働局 労働基準部 健康安全課
担当 健康安全課長 小松原邦正
産業衛生専門官 田淵英二
Tel 086-225-2013(直通)
Tel 086-238-6216(夜間)

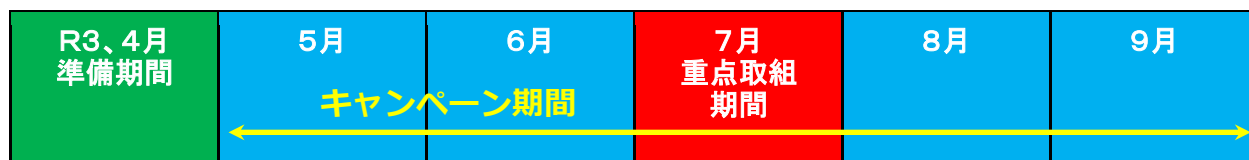
《STOP！熱中症 クールワークキャンペーン》

ー岡山県内の熱中症による労働災害は増加傾向にー

- 1 岡山労働局(局長 内田 敏之)は、職場における熱中症を防止するため、令和3年度も

STOP！熱中症 クールワークキャンペーン(実施期間:令和3年5月から9月)

を実施します。



- 2 県内における令和2年の熱中症の労働災害は、死亡0人(前年比▲2人)、休業4日以上 20人(前年比+1人)でした。休業災害件数は増加傾向にあります。【参考資料1】

業種別では、製造業6人、建設業5人、運輸交通業4人など、この3業種で全体の 75 パーセントを占めています。

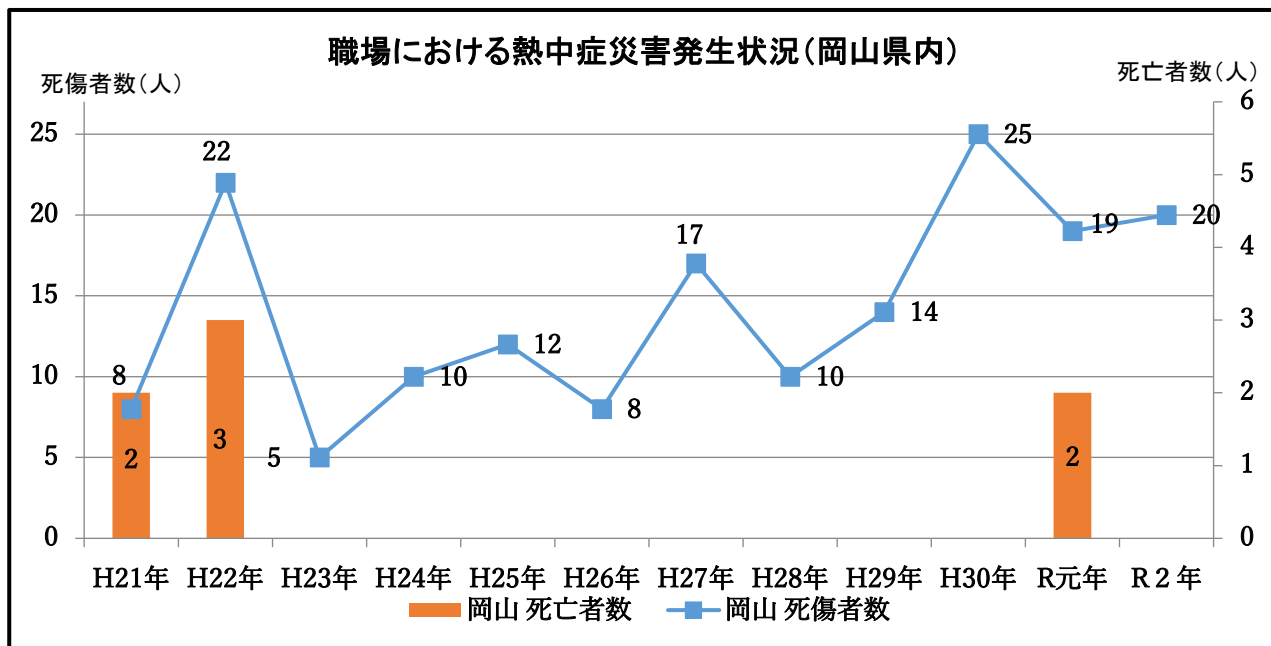
- 3 県内の災害事例として、入職直後や夏季休暇明けで熱順化が十分でないとみられる事例、WBGT 値を実測せず、WBGT 基準値に応じた措置を取っていない事例、休憩に入った直後に急激に体調が悪化し救急搬送される事例等が見られました。

また、過去5年間で災害発生が多い時間帯は 10 時から 12 時と、14 時から 18 時が全体の約2/3を占めています。【参考資料2】 さらに、被災者の経験年数は1年未満 21 人、1年以上 3年未満 15 人で、入職後3年未満(計 36 人)の発生が多い状況です。【参考資料3】

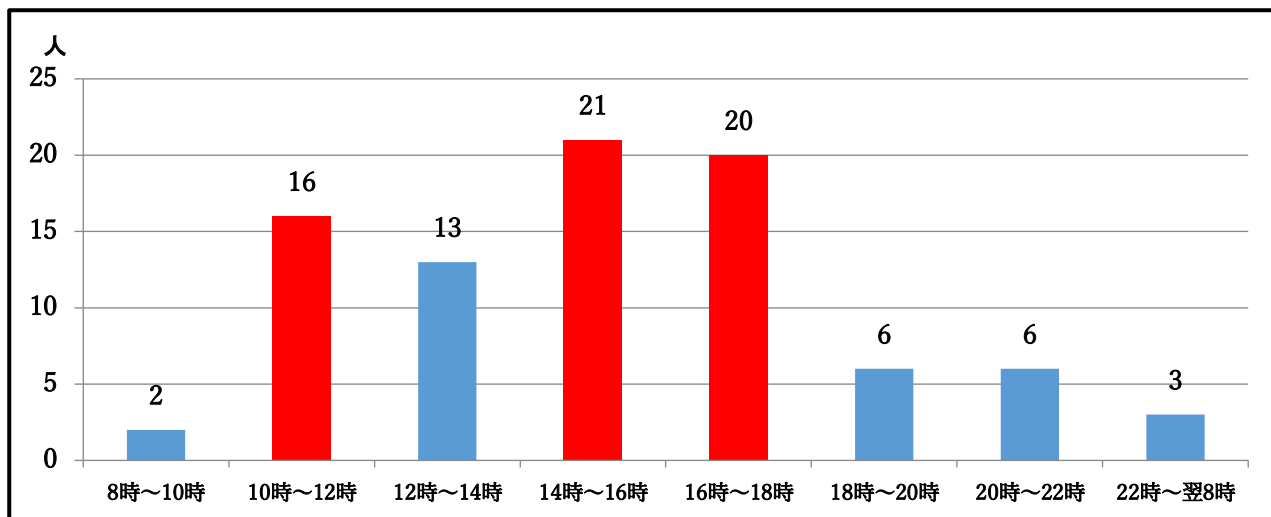
- 4 全国で発生した死亡等重篤な災害では、「休ませて様子を見ていたところ様態が急変した」、「倒れているところを発見された」など救急搬送が遅れた事例が見られることから、事業場内の WBGT 値の把握や緊急時の連絡体制の整備等が特に重要となります。令和3年度から県内で運用開始予定の熱中症警戒アラート^(※)を活用し、新型コロナウイルス感染症対策と両立する熱中症予防対策を建設業、製造業、警備業の重点業種に対して、県内の監督署が6月のパトロール等により周知指導を行います。

(※) 環境省、気象庁が共同で、危険な暑さが予想される場合に熱中症への警戒を呼びかけるもので令和2年度は関東甲信地方で試行された

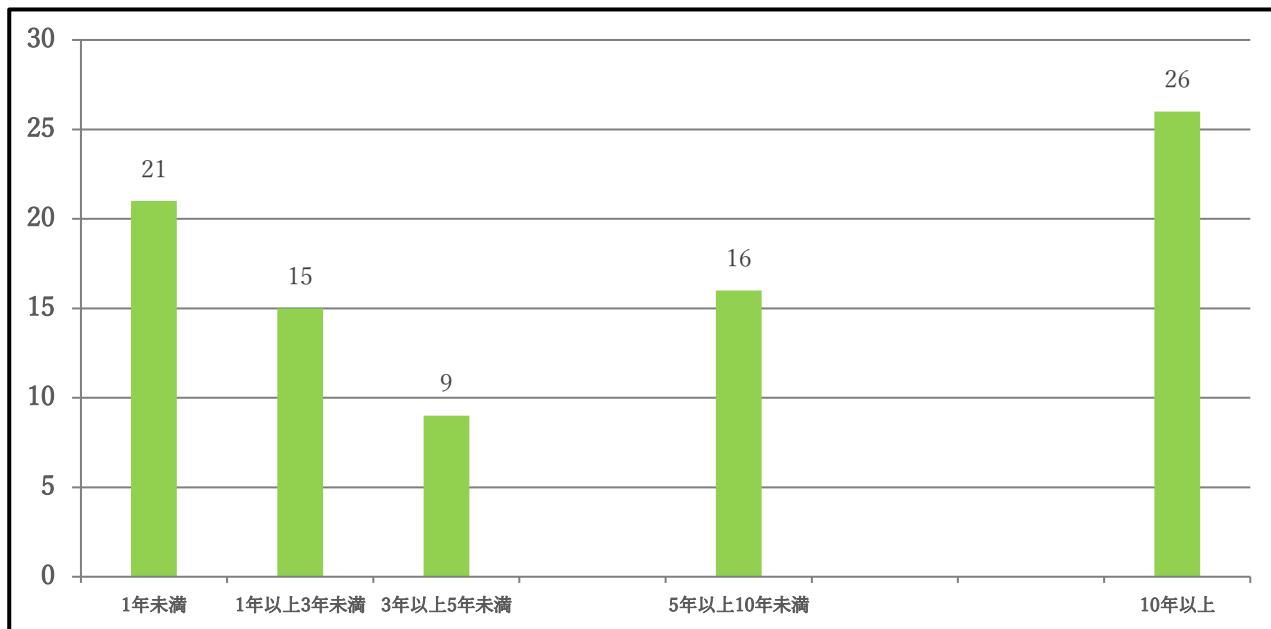
参考資料1：岡山県内の熱中症による災害発生状況



参考資料2：岡山県内の熱中症災害発生状況(時間帯別)(平成28年～令和2年)



参考資料3：岡山県内の熱中症災害発生状況(経験年数別)(平成28年～令和2年)



STOP！熱中症 クールワークキャンペーン

令和3年5月～9月

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

職場における熱中症により、毎年約**20人**が亡くなり、約**1,000人**が4日以上仕事を休んでいます。
夏季を中心に「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に
取り組みましょう！

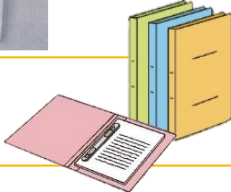
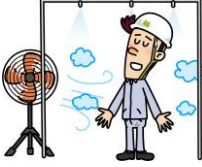
事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

●実施期間：令和3年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



確実に実施できているかを確認し、☐にチェックを入れましょう！

準備期間（4月1日～4月30日）

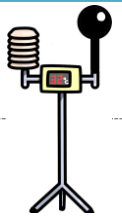
☐	WBGT値の把握の準備	JIS 規格「JIS B 7922」に適合した WBGT指数計 を準備しましょう。	
☐	作業計画の策定など	WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう 余裕を持った作業計画 をたてましょう。	
☐	設備対策・休憩場所の確保の検討	簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、 WBGT値を下げる方法 を検討しましょう。 また、作業場所の近くに 冷房 を備えた休憩場所や 日陰 などの涼しい休憩場所を確保しましょう。	 
☐	服装などの検討	通気性の良い作業着 を準備しておきましょう。 身体を冷却する機能をもつ服 の着用も検討しましょう。	
☐	教育研修の実施	熱中症の防止対策について、 教育 を行いましょう。	 迷わず救急車を呼びましょう！
☐	労働衛生管理体制の確立	衛生管理者 などを中心に、事業場としての 管理体制 を整え、必要なら 熱中症予防管理者の選任 も行いましょう。	
☐	緊急時の措置の確認	体調不良時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょう。	

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

STEP
1

□ **WBGT値の把握**

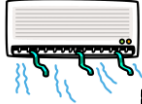
JIS 規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。



WBGT指数計の例

STEP
2

準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

☐ WBGT値を下げるための設備の設置	準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。	
☐ 休憩場所の整備	休憩場所には氷、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。	
☐ 通気性の良い服装など	準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。	
☐ 作業時間の短縮	WBGT値が高いときは、 単独作業を控え 、WBGT値に応じて 作業の中止、こまめに休憩をとる などの工夫をしましょう。	
☐ 熱への順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣らし ましょう。特に、 入職直後や夏季休暇明け の方は注意が必要です！	
☐ 水分・塩分の摂取	のどが渴いていなくても 定期的に水分・塩分 を取りましょう。	
☐ プレクーリング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。	
☐ 健康診断結果に基づく措置	①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢 などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。	
☐ 日常の健康管理など	前日のお酒の飲みすぎはないか、寝不足ではないか、当日は朝食をきちんととったか、管理者は確認しましょう。熱中症の具体的症状について説明し、早く気付くことができるようにしましょう。	
☐ 労働者の健康状態の確認	作業中は管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。	

STEP
3

熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

- ☐ WBGT値の低減対策は実施されているか
- ☐ 各労働者が暑さに慣れているか
- ☐ 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか
- ☐ 各労働者の体調は問題ないか
- ☐ 作業の中止や中断をさせなくてよい

□ **異常時の措置**

～少しでも異変を感じたら～

- ・ **いったん作業を離れる**
- ・ **病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ**
- ・ **病院へ運ぶまでは一人きりにしない**

重点取組期間（7月1日～7月31日）

- ☐ 実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
- ☐ 特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- ☐ 水分、塩分を積極的に取りましょう。
- ☐ 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。
- ☐ 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
- ☐ 少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく、病院に搬送しましょう。



WBGT値と気温、相対湿度との関係

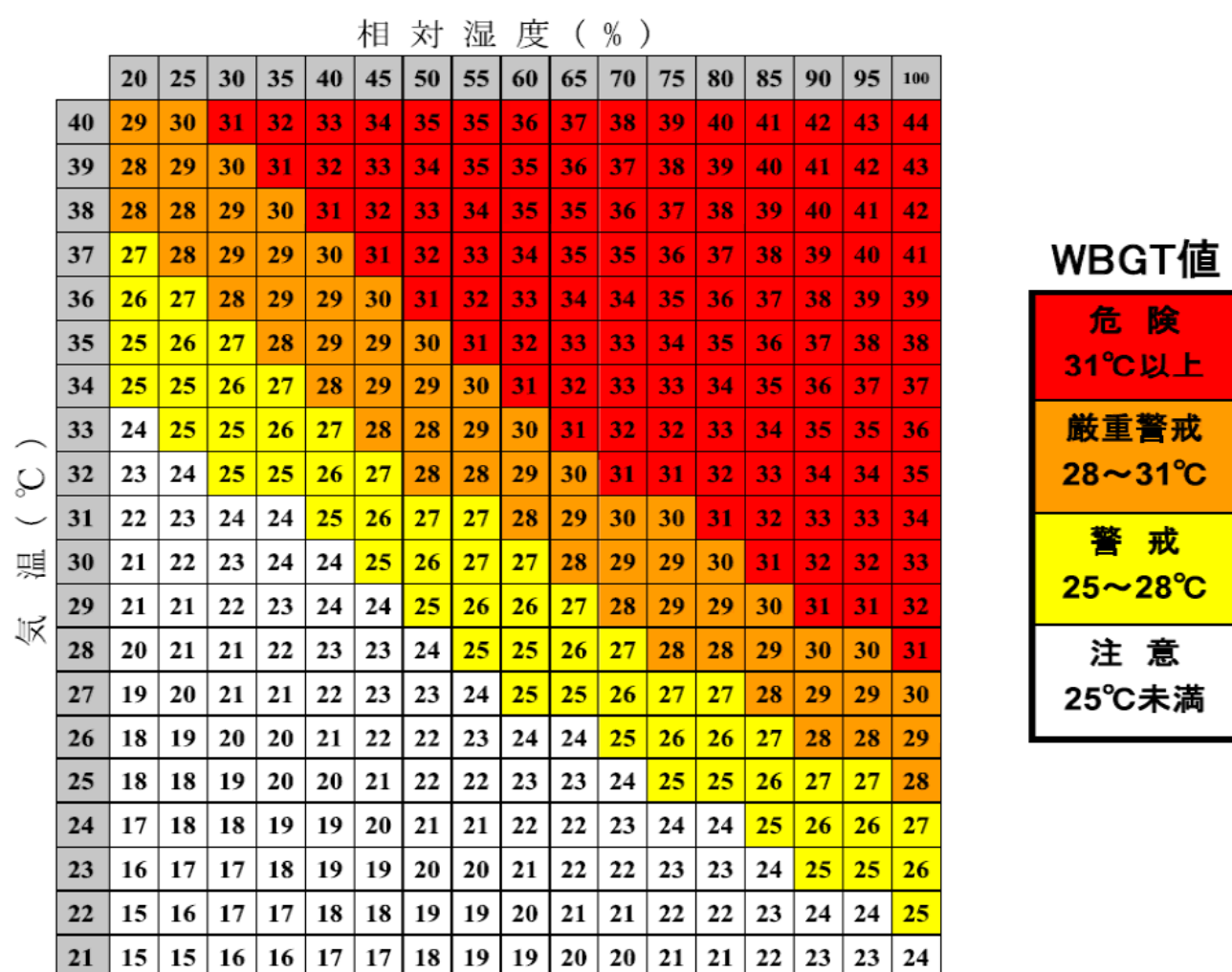


図2. WBGT と気温、湿度との関係

(日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3 訂正版 から)